第9号様式 その1　　（表）

地球温暖化対策報告書（その1）

1 事業者の氏名等

事業者の氏名（法人にあっては名称及び代表者の氏名）	学校法人大妻学院 理事長 伊藤 正直
事業者番号	A 0 8 7 1

2 報告する事業所等の全体の状況（2020年度の状況）

条例第8条の23第1項報告事業所数	8	事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	3,146	kl
条例第8条の23第2項報告事業所数	2	事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	34	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	6,136	t

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等	□	義務提出事業所等	■	全事業所

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
合計二酸化炭素排出量	7,101.00	7,333.00	7,430.00	7,205.00	6,136.00	t
合計延床面積	150,534.51	150,534.51	152,105.62	152,105.62	152,105.62	㎡
合計原単位	47.17190	48.71308	48.84763	47.36840	40.34038	kg-CO_2/㎡

平均合計二酸化炭素排出量削減率	3.58	%
平均合計原単位改善率	3.83	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー利用事業所数	1	事業所
再生可能エネルギー利用事業所率	10	%

7 評価結果

地球温暖化対策の取組に係る評価	SS	ランク

（日本産業規格A列4番）

8　実績年度の目標達成の状況

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

9　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

合計二酸化炭素排出量削減率		%
合計原単位改善率		%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他	特記事項に内容を記載	

10　地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1

11　事業者としての取組

取組方針	環境対策に関する報告会にて、環境対策の方針として以下を共有した。・環境対策を全学的な運動として位置付ける。・あらゆる無駄をなくす運動（TQC運動）とする。・環境教育などの教育的な見地からも取り組むこととする。

組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A107	排出状況の整理・分析・提供
	A102	温暖化対策推進担当の配置	A108	組織横断的な推進体制の整備

12　特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	千代田大学校舎（A～D棟）
事業所番号	A 0 8 7 1 ― 0 0 0 1
事業所等の所在地	〒 1 0 2 ― 8 3 5 7　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　三番町12番地2他
事業所等の延床面積	23,807.85 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 6 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	・建物使用者減少の為、使用量が減少。（新型コロナウイルス対応措置） ・所在地表記変更。

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2020年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 544	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,051	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,054	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 44.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	123,036.8	45.00	5,536.7	0.0136	276.1
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	1,230,900.0	9.97	12,272.1	0.4890	601.9
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	355,628.0	9.28	3,300.2	0.4890	173.9
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 21,109.0		⑮ 1,051.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,463.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,033.0			0.4000	2.0
合　計									⑯ 3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策			CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB10	余熱利用による早めの空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB13	中間期における外気冷房の実施
				CB18	外灯等の点灯時間の季節別管理
				CB46	受電力率の把握・記録
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	中高校舎
事業所番号	A 0 8 7 1 ー 0 0 0 2
事業所等の所在地	〒 1 0 2 ー 8 3 5 7　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　三番町5番地5他
事業所等の延床面積	16,502.04 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	建物使用者減少の為、使用量が減少。（新型コロナウイルス対応措置）

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2020年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 308	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 593	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 597	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 35.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	48.3	45.00	2.2	0.0136	0.1
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	987,447.0	9.97	9,844.8	0.4890	482.9
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	226,746.0	9.28	2,104.2	0.4890	110.9
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,951.2		⑮ 593.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,391.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	7,243.0			0.4000	2.9
合　計									⑯ 4.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策			CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB18	外灯等の点灯時間の季節別管理
				CB46	受電力率の把握・記録
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	図書館棟
事業所番号	A 0 8 7 1 ー 0 0 0 3
事業所等の所在地	〒 1 0 2 ー 8 3 5 7　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　三番町7番地8
事業所等の延床面積	7,433.17 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 2　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	建物使用者減少の為、使用量が減少。（新型コロナウイルス対応措置）

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2020年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 191	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 368	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 368	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 49.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	616,346.0	9.97	6,145.0	0.4890	301.4
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	135,369.0	9.28	1,256.2	0.4890	66.2
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,417.0	9.76	13.8	0.4890	0.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,415.0		⑮ 368.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	250.0			0.2660	0.1
	公共下水道		□	m^3	653.0			0.4000	0.3
合　計									⑯ 0.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策			CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB13	中間期における外気冷房の実施
				CB46	受電力率の把握・記録
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	多摩校
事業所番号	A 0 8 7 1 ー 0 0 0 6
事業所等の所在地	〒 2 0 6 ー 8 5 4 0　区市町村名　東京都多摩市 町名番地以下　唐木田2－7－1他
事業所等の延床面積	47,434.76 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 6 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	建物使用者減少の為、使用量が減少。（新型コロナウイルス対応措置）

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2020年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 901	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,739	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,744	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 36.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	167,955.3	45.00	7,558.0	0.0136	376.9
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	2,214,089.0	9.97	22,074.5	0.4890	1,082.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	573,087.0	9.28	5,318.2	0.4890	280.2
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 34,950.7		⑮ 1,739.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,480.0			0.2660	2.3
	公共下水道		□	m^3	8,897.0			0.4000	3.6
合　計									⑯ 5.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策			CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB10	余熱利用による早めの空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB13	中間期における外気冷房の実施
				CB16	自動販売機の休日・夜間照明停止
				CB18	外灯等の点灯時間の季節別管理
				CB46	受電力率の把握・記録
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

B103時間的に詳細に把握(日毎)

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	本館（E棟・F棟）
事業所番号	A 0 8 7 1 ー 0 0 1 1
事業所等の所在地	〒 1 0 2 ー 8 3 5 7　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　三番町8番地8他
事業所等の延床面積	22,236.96 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 6 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	建物使用者減少の為、使用量が減少。（新型コロナウイルス対応措置）

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2020年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 632	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,221	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,224	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 54.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	135,533.0	45.00	6,099.0	0.0136	304.1
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	1,425,774.0	9.97	14,215.0	0.4890	697.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	450,895.0	9.28	4,184.3	0.4890	220.5
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 24,498.3		⑮ 1,221.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,610.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,474.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策			CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB10	余熱利用による早めの空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB13	中間期における外気冷房の実施
				CB18	外灯等の点灯時間の季節別管理
				CB46	受電力率の把握・記録
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	別館（J棟）
事業所番号	A 0 8 7 1 ー 0 0 1 2
事業所等の所在地	〒 1 0 2 ー 8 3 5 7　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　三番町5番地4
事業所等の延床面積	1,153.77 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 6 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	建物使用者減少の為、使用量が減少。（新型コロナウイルス対応措置）

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2020年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 23	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 44	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 44	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 38.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	71,462.0	9.97	712.5	0.4890	34.9
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	20,530.0	9.28	190.5	0.4890	10.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 903.0		⑮ 45.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	419.0			0.2660	0.1
	公共下水道		□	m^3	419.0			0.4000	0.2
合　計									⑯ 0.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策			CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB46	受電力率の把握・記録
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	中野中高
事業所番号	A 0 8 7 1 ー 0 0 1 3
事業所等の所在地	〒 1 6 4 ー 0 0 0 2　区市町村名　東京都中野区 町名番地以下　上高田2－3-7
事業所等の延床面積	17,881.59 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	建物使用者減少の為、使用量が減少。（新型コロナウイルス対応措置）

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2020年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 231	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 444	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 446	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 24.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	1,038.2	45.00	46.7	0.0136	2.3
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	761,560.0	9.97	7,592.8	0.4890	372.4
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	140,517.0	9.28	1,304.0	0.4890	68.7
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,315.0	9.76	12.8	0.4890	0.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,956.3		⑮ 444.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,123.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,123.0			0.4000	1.6
合　計									⑯ 2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	CB37	4S（整理・整頓等）の実施	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB46	受電力率の把握・記録
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%	
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	H棟
事業所番号	A 0 8 7 1 ー 0 0 1 4
事業所等の所在地	〒 1 0 2 ー 8 3 5 7　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　三番町28番地1
事業所等の延床面積	5,944.02 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 6 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	建物使用者減少の為、使用量が減少。（新型コロナウイルス対応措置）

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2020年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 139	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 269	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 269	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 45.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	405,972.0	9.97	4,047.5	0.4890	198.5
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	144,711.0	9.28	1,342.9	0.4890	70.8
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,390.5		⑮ 269.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,004.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,005.0			0.4000	0.4
合　計									⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策			CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB18	外灯等の点灯時間の季節別管理
				CB46	受電力率の把握・記録
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
				E106	高効率照明ランプの採用（屋外）
				E130	全熱交換器の導入
				E135	エレベータのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	G棟
事業所番号	A 0 8 7 1 ー 0 0 1 5
事業所等の所在地	〒 1 0 2 ー 8 3 5 7　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　三番町10番地3、10番地1、10番地2、10番地4
事業所等の延床面積	8,140.35 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 6 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	建物使用者減少の為、使用量が減少。（新型コロナウイルス対応措置）

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2020年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 200	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 386	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 386	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 47.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	146.9	45.00	6.6	0.0136	0.3
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	617,984.0	9.97	6,161.3	0.4890	302.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	171,760.0	9.28	1,593.9	0.4890	84.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,761.8		⑮ 386.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	731.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	1,451.0			0.4000	0.6
合　計									⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策			CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB18	外灯等の点灯時間の季節別管理
				CB46	受電力率の把握・記録
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
				E106	高効率照明ランプの採用（屋外）
				E130	全熱交換器の導入
				E135	エレベータのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	K棟
事業所番号	A 0 8 7 1 ー 0 0 1 6
事業所等の所在地	〒 1 0 2 ー 8 3 5 7　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　三番町5番40
事業所等の延床面積	1,571.11 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 6 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	建物使用者減少の為、使用量が減少。（新型コロナウイルス対応措置）

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2020年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 11	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 21	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 21	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 13.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	31,277.0	9.97	311.8	0.4890	15.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	13,048.0	9.28	121.1	0.4890	6.4
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 432.9		⑮ 21.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	102.0			0.2660	0.0
	公共下水道		□	m^3	102.0			0.4000	0.0
合　計									⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策			CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB46	受電力率の把握・記録
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項